



三木金物に触れる

使い手と作り手、伝え手が交流できるイベントや金物に関する文化を学べる場を紹介します。愛好家の方はもちろん、今まであまり触れる機会がなかった方も三木金物を堪能しませんか？

三木金物まつり

毎年11月の第1土・日曜日に三木山総合公園を中心に開催される三木市の一大イベントです。

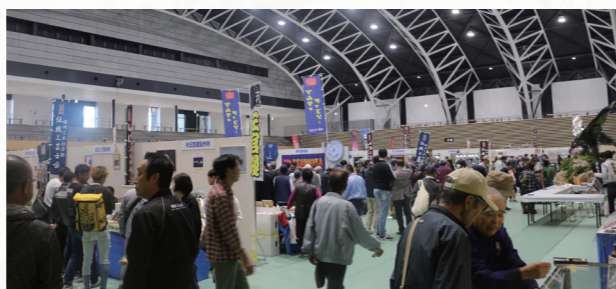
総合体育館内では、3千以上の金物を使って組み上げられた金物鷲が構える中、三木金物の展示・即売会が開かれ、使い手と作り手が盛んに交流できる場となっています。

屋外では、各種産業の展示・即売などが行われます。

問 (市)商工振興課 中小企業振興係

11月5日(土)、6日(日)開催!

(新型コロナウイルス感染防止のため、変更・中止になる場合があります。)



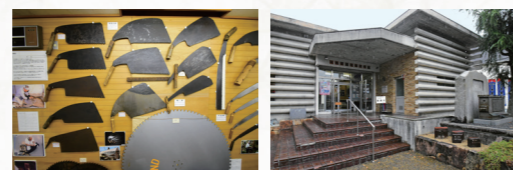
古式鍛錬 原則第1日曜日開催!

古来の伝統技法を継承するため、三木金物古式鍛錬技術保存会の5部会(鋸・鑿・鉋・鋳・小刀)のメンバーが交代で公開実演を行っています。鍛造に使う炎を制御する「鞆」を使い、その御神火で鉄を鍛える光景を間近で見学できます。

場 古式鍛錬場(上の丸町5-43)

問 三木工業協同組合 ☎82-3154

県内初!^{ふいご}「鞆まつり」が県登録無形民俗文化財に登録
毎年12月の第1日曜日に開催され、神事や火入れ式、古式鍛錬、刃物供養祭を行う祭りとして親しまれています。今年の鞆まつりの古式鍛錬では鋸の鍛錬が披露されます!



金物資料館

昭和51年(1976年)に開館。館内には多種多様な三木金物がずらり。古来から伝わる製法や三木金物の貴重な資料を保存・展示しています。

休 月曜(祝日の場合は翌平日)

問 三木金物資料館(上の丸町5-43)

☎83-1780



こんなものもあるんだ!

生活雑貨にも三木金物

三木金物は大工道具が有名ですが、他にも秀逸な製品が数多く存在しています。ここでは三木市ふるさと納税[※]で全国から選ばれている人気返礼品の一部を紹介します。

問 (市)縁結び課 縁結び係

ブッシュクラフトハンマー Bushcraft hammer

サイズ 長さ300×巾130mm 重量 725g (ケース入り760g)

ペグ打ちと薪割り機能を付けた新感覚ハイブリッドツール。道具を最小限に抑えたいキャンパーにオススメ!



ひごのかみ 肥後守 特別手作り鍛造青紙本割込(真鍮)

サイズ 鞘の長さ100mm

現在、国内で唯一肥後守を生産する三木市の鍛冶職人が時間をかけて手打ち鍛造した高級肥後守。しっかりとした厚みの特徴。



肥後守は人気冒険活劇漫画「ゴールデンカムイ」の主人公 杉元佐一の愛用品としても作中に登場しました。©野田サトル/集英社

※制度の趣旨により、住民票登録をしている自治体にふるさと納税をした場合、返礼品を受け取ることはできません。



かつおだし 鯉節削り器 引き出し付き 桐製

サイズ 長さ290×巾125×高さ150mm
鹿児島県指宿市の「鯉節」×三木市「鉋」の2大産地が最高の鯉節を削り出すために開発したコラボ商品。最高の削り節をあなたの手で!



折畳式料理ナイフ 名栗イペ

サイズ 長さ200mm (刃収納時147mm)
包丁のような使用感なのに折りたたみためコンパクトに。メンテナンスも簡単な新感覚アウトドアに最適なナイフ。



ミリオ millio鍛造フライパン

サイズ 長さ400×直径200×深さ40mm
重量 900g

一枚の鉄板を何度も打ち叩いて成形した耐久性の高いフライパン。熱伝導率が非常に高い鍛造フライパンならではの調理が楽しめます。